

ルニ至リマシタ、ソレデ陸海軍部内及其部外カラ委員ヲ任命又ハ囑託致シマシテ、慎重審議ノ末ニ、大正年七月ニ至ッテ調査ヲ完了シタ次第アリマス、是カラ改正ノ大綱ヲ申上ゲマス、改正案ハ廣ク諸國ノ立法例ヲ參酌致シマシテ、大綱ニ於テ軍紀ヲ維持シ、軍ノ利益ヲ保護スルニ就テ、周到ナル用意ヲ致シマシタト同時ニ、被告人ノ利益ヲ顧慮致シマシテ、サウシテ人權保護ノ方面ニ於テ、亦十分ニ用意ヲ爲シタノデアリマス、改正案ハ陸海軍ノ制度、其他事情ノ變ルニ從ヒマシテ、自ラ規定ヲ異ニスルノ必要アルモノヲ除クノ外、成ベク其規定ヲ同ジウスル事ニ努メマシタ、裁判手續ニ就キマシテハ軍ノ利益ト相反セザル限リ、主トシテ法律取調委員會ニ於テ取調ベタル所ノ刑事訴訟法改正案ヲ參酌シタノデアリマス、改正案ハ之ヲ二編ニ分チマシテ、第一編ニ於テ軍法會議ノ權限、管轄及機關ヲ、又第二編ニ於テハ裁判手續ノ規定シテアルノデアリマス、ソレ故ニ治罪法ノ名稱ノ適當デナイト云フ事ヲ認メマシテ、之ヲ陸軍軍法會議法、海軍軍法會議法ト命名シタ次第デアリマス、次ニ現行法ニ改正ヲ加ヘタル主ナル事項ヲ申上ゲマス、軍法會議ノ裁判ハ長官ノ確認ヲ經タル後デナケレバ、言渡ヲ爲スコトヲ得ヌト云フ制度ヲ廢シマシテ、裁判ノ言渡ヲ軍法會議ノ全權ヲ以テスルコトニ致シマシタ、又審判上他ノ干渉ヲ受クルコトナキ事ヲ明ニシマシタ、現行法ニ於テハ軍法會議ノ傍聴ヲ許シテアリマセヌ、唯ダ裁判宣告ヲ爲ストギニ限ッテ、現役軍人ノ傍聴ヲ許ス事ニナッテ居リマシタ、之ヲ改メマシテ審判公開ノ制ヲ定メテ居リマス、現行法ニ於テハ軍法會議ノ審理ニ辯護人ヲ附スル事ヲ許シテアリマセヌ、之ヲ改メマシテ新ニ公判ニ於テ辯護人ヲ附スルノ制ヲ設ケマシタ、現行法ニ於テ上訴ノ途ガ開ケテアリマセヌ、裁判ハ言渡ト同時ニ確定スル制ニナッテ居リマスガ、之ヲ改メマシテ、法令ノ違背ヲ理由トスル上告ノ制ヲ設ケテアリマス、軍法會議ノ裁判權、名稱及管轄ニ變更ガシテアリマス、軍法會議職員ノ名稱ヲ改メテ居リマス、現行法ニ於テ專門ノ法官ハ裁判官ノ一員トナッテ居リマセヌ、之ヲ改メマシテ此裁判機關ノ一人ト云フモノニ加ヘ

ルコトニ致シマシタ、軍法會議ノ專門法官タル法務官ヲ終身官ト致シマシテ、且ツ其身分ヲ保障スルノ規定ヲ設ケテアリマス、新ニ檢察官ヲ置キマシテ、是ガ搜查ヲ爲シ、又公訴ヲ行フコトニシテアリマス、搜查權ノ系統ト、搜查官憲ノ權域ヲ明カニシテ居リマス、憲兵ハ陸軍治罪法上檢察權ヲ有シテ、海軍治罪法上デハ檢察權ヲ有シテ居リマセヌ、又檢察官ハ一般ニ軍人軍屬ノ犯罪ニ就テハ、現行犯ノ場合ニ限ッテ特別處分ヲ爲シ得ル權限ヲ有スル事ニナッテ居リマスガ、此制ヲ改メマシテ、陸軍司法警察官ヲ設ケ、海軍司法警察官ヲ設ケ、憲兵又ハ陸軍大臣海軍大臣ノ指定シタル司法警察官ヲ以テ之ニ充テマシタ、サウシテ軍司法警察官ノ職務ヲ執ラシメル事ニ爲シテアリマス、裁判官ノ除斥回避ノ制ヲ設ケ、且檢察官及被告人ヨリ、長官ニ裁判官ノ除斥ヲ具申シ得ル規定ヲ設ケマシタ、現行法ニ於テ拘留ヲ受ケタル被告人ニ對シテ、保釋ヲ許サヌ規定ニナッテ居リマシタガ、之ヲ改メマシテ軍人軍屬ニ非ザル所ノ被告人ニ就テハ、保釋ヲ許スコトヲ得ル規定ヲ設ケテ居リマス、搜查中強制處分ヲ要スル時ハ、豫審官ニ要求シ得ル規定ヲ設ケマシタ、現行法ニ於ケル審問ニ相當スル處分ヲ豫審ト改メ、又判決ニ相當スル審級ヲ、之ヲ公判ト改メマシタ、現行法ニ於ケル長官ノ命ニ依ッテ審問及判決ニ著手スル制度ヲ改メマシテ、長官ノ命ヲ受ケタル檢察官ノ請求、又ハ公訴提起ニ依ル豫審、又ハ公判ヲ開始スルノ制ト改メタノデアリマス、豫審ハ之ヲ起訴前ノ處分ト爲シテアリマス、關席裁判ノ制度ヲ廢シマシテ再審ニ關スル規定ニ變更ヲ加ヘテ居リマス、新ニ執行ニ關スル規定ヲ設ケテアリマス、皇族ニ關スル事項ハ、皇室令ヲ以テ規定スベキモノト認メマシテ、本案ニハ規定シテアリマセヌ、ソレカラ附帶私訟ノ制ヲ廢止シテアリマス、此外十一件アリマスガ、是ハ自然軍法會議法案ノ改正ニ伴フ結果デアリマシテ、是ハ大綱ヲ申上ゲル必要ハナカラウト思ヒマスノデ、茲ニ之ヲ省イテ置キマス

○委員長(鶴澤總明君) 次ハ海軍ノ方ノ説明ヲ聽キマセウ

○井出政府委員 海軍ノ軍法會議法案ヲ改正シマシ

タ趣旨方針ハ、陸軍ノソレト同ジデゴザイマシテ、只今別ニ——陸軍次官ガ言ハレマシタ通りデゴザイマスカラ、私ノ方ハ省略シタイト思ヒマス

○三善清之君 一寸政府委員ニ伺ヒマスガ、大體ノ事ハ本員モ承知シテ居リマスガ、最近軍法會議ノ判事ハ、軍人諸君ノ所謂判士ト云フモノデナッテ居リマスガ、軍法會議ヲ開キマス時ハ、判士ト云フモノガ列席ノ上デ……

○山梨政府委員 現行ノコトヲ御尋ニナルノデスカ

○三善清之君 現在ノ

○山梨政府委員 現在ハ陸軍將校ヲ判士ニ用キ、判士デヤッテ居リマス

○三善清之君 サウ致シマスト明治二十年頃カラ、今日マデニ餘リ法律上ノ改革ハナカッタノデスカ

○山梨政府委員 現ニ陸軍治罪法ガ明治二十一年ニ改正ニナリマシテ、ソレヲ現行シテ居ル次第デアリマス

○三善清之君 私ハ現在ノ當局者ガ本案ヲ御提出ニナリマシタ事ニ對シテ、多大ノ感謝ヲ致シタイト思フノデアリマス、諸君ノ御承知ノ如ク、海陸軍ハ嚴肅ナル軍紀ガアリマシテ、上長ノ命令ニハ如何ニデモ之ニ服從セザルヲ得ナイト云フ風ガアリマス、是ハ又當然ノ事デアリマス、而シテ從來ノ軍法會議ナルモノハ、所謂秘密審査デアリマシタ、而シテ其列席ノ判事タルヤ、只今伺ヒマシタ如ク判士ト稱スル所謂サーベル判事、餘リ法律上ニ經驗ノナイ軍人諸君ガ、列席ヲ致シテ判決ニ加ハルト云フ事デアリマス、故ニ往々被告人トナリマシタ者ハ、不幸ナ判決ヲ受ケル者ガアリマシタヤウニ思フノデアリマス、幸ニ此度此法案ガ通過致シマシタナラバ、辯護ノ方モ許サレ、上告ノ途モ開カレマスルコトハ、洵ニ結構ナ事デアリマス、寧ろ是ハ歷代ノ内閣ガ遠キ昔ニ此法案ノ改正ヲシナケレバナリナイ事デアッタト本員ハ思ヒ、是ノ遅カッタコトヲ憾ミトスルノデアリマシテ、一寸茲ニ大分昔ノ事デゴザイマスガ、軍法會議ガ不完全ナ設備デアッタ爲メニ、不幸ノ判決ヲ受ケタト云フコトノ一例ヲ一寸……

○委員長(鶴澤總明君) 三善君モウ少シ是ハ大體ノ説明ヲ承ッテカラ……

○三善清之君 實ハ此浩瀚ナル物ニ對シテ、諸君ノ御質問モ澤山アリマセウガ、議事ノ進行ニ就テ意見ヲ述ベマス

○委員長(鵜澤總明君) 進行モ大分大切デアリマスガ、評シイ事ヲ聽イテ、モウ少シ後ニ御願ヲ致シタイ

○横山金太郎君 本案ハ多年ノ宿題デアリマシテ、軍人軍屬ニ對スル治罪上ノ大變革トモ申シテ宜イ案デアリマス、而モ今御述ニナリマシタ事ヲ聽キマシテモ、殆ド新シイ試ミデアルト申シテ宜イ位ナモノデアリマス、御説明ニ依リマシテ、本案ノ特色トモ見ルベキ大要ハ之ヲ諒スルコトヲ得マシタケレドモ、未ダ大ニ盡ササル所ノモノガアリマス、殊ニ御説明ヲ承テ見マスルト、成ベクハ元法律取調委員會ニ於テ起案セラレタル刑事訴訟法改正案ノ規定ニ倣フコトニ努メタト云フヤウナ傾キガアリマシテ、現行ノ刑事訴訟法デゴザリマスルナラバ、吾々多少承知シテ居リマスルガ、刑事訴訟改正法案ナル物ノ内容ハ大抵知ラナイ事デアリマス、デ願クハ其所謂刑事訴訟法改正法案ト云フ物ノ内容ヲモ一瞥致シタウゴザイマス、本案ハ五百六十一箇條ニ互ル浩瀚ナル物デアリマシテ、大體ノ説明トカ若クハ逐條審議トカト云フ事ニ致シマシテモ、餘程骨ノ折レル仕事デアリマス、豫メ豫備ノ智識ト云フモノヲ頭ニ蓄ヘルノガ一番必要デアリマス、此場合ニ私ハ政府當局ニ向テ先ヅ本案ト申シマシテモ、本案ノ中デ——總括セラレタル議案ノ中デ、陸軍軍法會議法案ト海軍軍法會議法案トハ内容ガ殆ド同ジデアリマスガ、要スルニ重要ナル物ハ此二ツデ、後ハ結果修正ト申シテモ妨グノナイ様ナモノデアリマス、此兩案ニ對シマスル理由書トモ申シマスルカ、モウ少シ内容ヲ理解スルニ足ルダケノ資料ヲ備ヘル文書ヲ吾々委員ニ交付サレマシテ、併セテ刑事訴訟法改正法案ナル物ノ内容ヲモ知リ得ル程度ノ物ヲ御廻ハシ下サツテ、一二日ノ間此委員會ヲ延期シテ、其間ニ取調ヲ致シテ今三善君ヨリ御述ニナリマシタ様ニ、會期切迫ノ折柄、斯ウ云フ而モ浩瀚ナル物ヲ一ヨリ十迄咀嚼味致スコトハ、ハケシイカモ知レマセヌケレドモ、或程度迄理解シテ此案ヲ認メルヤ否ヤト云フコトノ許否ヲ決シタ

イ、ソレデ只今ノ註文ヲ致シテ今日ハ御延會アラシコトヲ希望致シマス

○贊成々々(ト呼フ者アリ)

○委員長(鵜澤總明君) 横山君モウ少シ——只今此兩次官カラ御説明ガアリマシタガ、陸軍ノ方ノ清水君、海軍ノ方ノ内田君カラ、モウ少シ實質ニ向ッテノ説明ヲサレルコトガ、審議ノ上ニ都合ガ宜クハナイカト思ヒマス

○横山金太郎君 御廻ハシ下サツタ物ヲ搔摘ンデ御話ニナツタダケデ、吾々ハ更ニ得ル所ハナイ、ソレデモウ少シ頭ヲ拵ヘナイト、浩瀚ナル物ヲ鵜呑ニスルト云フコトハ、吾々ノ責任上ドウモ……

○委員長(鵜澤總明君) 鵜澤君ナシニ御廻シスルデセウガ、其前ニモウチット内容ノ説明ヲスルコトガ必要デハナイカト思ヒマス(説明ヲ願ヒマス)ト呼フ者アリ)サウスル方ガ御廻シシタ物ヲ讀ムニモ宜イ、法律ノ法規制度ニ素人ノ方モアリマスカラ

○横山金太郎君 ソレチヤ、サウ願ヒマス

○清水政府委員 只今ノ横山君ノ趣旨ハ能ク分リマシタ、斯ウ云フ浩瀚ナル法律ハ一寸見タダケデハ分ラヌト云フ御意見デ、如何ニモ御尤ト思ヒマス、デ私ハ成ベク在ノ儘ノ事實ヲ申上ゲマシテ、御諒解ヲ得タイト思フ、其希望ヲ以テ少シ述ベテ見タイト思ヒマス、大體ノ事ニ就キマシテハ、只今山梨委員カラ述ベラレマシタ通りデアリマス、デ御承知デモアリマセウ、凡ソ何所ノ國デモ軍隊ノ設ケノアリマス所デハ、軍事刑法、軍事裁判制度ト云フモノ、設ケガナイ所ハナイノデアリマス、而シテ其所謂軍事裁判制度ハ何所デモ一種ノ特色ヲ持ッテ居ルノデアツテ、其所謂特色ノ細目ニ至リマシテハ、多少ノ異同ガアリマスケレドモ、凡ソ此軍事裁判制度ニ共通ノ精神ト言ハレルモノガアル様デアリマス、ソレハ約メテ申シマスト、訴訟手續ヲ極メテ敏速ニスルト云フ事ノヤウデアリマス、詳シク申上ゲマスルト、茲ニ犯罪ガアレバ——犯罪ガアツテ軍ノ紀律ヲ紊亂スル者ガアツタ場合ニハ、成ベク速ニ其事ヲ取調ベマシテ、成ベク速ニ之ニ對シテ法ヲ以テ軍ノ紀律ヲ節スルト云フ事ニ外ナラヌノデアリマス、此趣旨ト云フモノハ、時勢

ノ傾向ニ依ッテ一時閑却セラレ、コトモアリ忘レラレルコトモアルヤウデアリマスケレドモ、元來軍事ノ必要カラ參ッテ居リマスカラシテ、必ズ復舊シテ一ニ歸スルト云フヤウナ譯デアリマス、然ルニ犯罪處分ヲ敏速ニ致シマスト申シマスコト、裁判手續ヲ鄭重ニ致シ、人權ヲ尊重スルト云フコトガ、兎角ニ矛盾ヲ來スノデアリマス、ソレデアリマスカラ、軍事裁判制度ヲ新ニ設ケタリ、軍事裁判制度ヲ改正シタリ致シマスニ付テ、何ガ一番面倒デ、且ツ重要ナ問題デアカト申シマス、只今申上ゲマシタ兩者ノ必要ヲドウ云フ風ニシテ調和スルカト云フコトニアルノデ、是ハ軍事裁判制度ノ殆ド骨子精神ヲナシテ居ル、ソレデ強テ必要モナイノニ軍紀論ヲ云々シテ、人權問題ヲ閑却スルト云フコトハ、甚ダ惡イ事デアル、ソレト同ジク人權問題ヲ餘リ過度ニ重視致シマシテ、軍事ノ利益乃至必要ヲ犧牲ニスルト云フコトモ亦甚ダ惡イ事デアリマス、是等ノ問題ニ付キマシテハ本案ハ周到ナ注意ヲ拂ヒマシタ積リデアリマス、只今山梨委員カラ述ベラレマシタ如ク、本案ハ最初私共ガ起案ヲ致シマシタカラ十數年掛ッテ居ル、ソレカラ陸海軍共同調査ナルモノヲ始メマシテ、陸海軍々々人專門家、ソレカラ内外ノ法律家等ニモ囑託致シマシテ、サウシテ周到審議ヲ致シマシタ事ガ五年デアリマス、隨分詳シク調ヲ致シマシタ、無論百數十回ノ調査會ヲ開キマシタ、サウシテ所謂只今申シマシタ軍事上ノ利益、乃至必要ト云フ事ニ就キマシテハ、専ラ將校委員ノ所見ニ重キヲ置キマシテ、此將校委員ト申シマシテモ、陸海軍ノ人デ樞要ナ地位ニ居リマス將校ヲ以テ組織致シマシタ、其將校委員ノ所見ニ重キヲ置キマシテ、サウシテ如何ニ軍事裁判制度ト雖斯ノ事項ハ一般ノ法理ニ從ハナケレバナラヌト云フ論ニ就キマシテハ主トシテ法曹法律家ノ意見ニ重キヲ置イタ次第デアリマス、ソレデサウ云フ心配ヲ致シマシタ結果現行制度ニ修正ヲ加ヘマシタ顯著ナル事項ハ、今述ベラレマシタ通りデアリマス、又今ノ説明ニ漏シテ居リマス所ハ申上ゲマシタガ如ク、大體ニ於テ殆ド普通裁判制度ト撰フ無キガ如キ狀態ニナリマシタケレドモ、尙ホ軍事上ノ利益乃至必要ニ

關スル事項ニ就キマシテハ、現行ノ制度ノ趣旨ヲ改メズ、又新ニ之ニ伴フ制度ヲ設ケマシタ事モ、多々アルノデアリマス、ソレニ就テ就中顯著ナ事項ヲ申上ゲマス、裁判官ノ大部分ハ舊ニ依ッテ將校ヲ以テ之ニ充テルコト、致シマシタ、是ハ先刻述ベラレマシタ如ク、帶劍法官、劍ヲ帶ビテ居ル法官、將校法官、其外ニ近世ノ軍事裁判制度ニ見做ヒマシテ、專門法律家ヲ裁判官ノ中ニ入レマシテ、是ハ第一審ニ一名、上告審ニ二名、斯ウ入レマシテ、此軍事裁判制度ニ死生ヲ共ニスル所ノ伴侶、軍隊ノ事情ニ精通シテ居ル所ノ將校、之ヲ以テ充テルト云フコトハ、殆ド例外ノナイ各國ノ裁判制度、皆其通りデアリマス、近頃ノ軍事裁判制度ニ限ッテ此將校裁判官ノ外ニ、專門法律家ヲ加ヘルト云フコトニナッテ居リマスガ、マダ歐羅巴ノ列強ノ制度ハサウ云フ事ヲシテ居ナイ、軍人ノミヲ以テ裁判官ニ充テ、居ル制度モ幾ラモアリマス、ソレカラ是モ軍事裁判制度ノ特色デアリマス、被告人ノ官等階級ニ從ヒマシテ、裁判官ノ組織ヲ定メマス、是亦各國軍事裁判制度ニ例外ノナイ事デアリマス、皆サウデアリマス、是等ハ特色デアリマス、ソレカラ次ハ裁判官ノモノハ現行制度デハ或程度デハ、長官ガ干涉スルト云フ事ニナッテ居リマスガ、裁判官ノモノハ、全然不羈獨立ノモノデアルト云フコトヲ、法文ヲ以テ明ニ致シマシタ、ソレニモ拘ラズ軍法會議其モノハ、獨立ノ官衙トハセズシテ、矢張軍衙團體デゴザイマス、戰時ニ在ッテハ軍デゴザイマス、トカ云フモノヲ置キマシテ、其長官ヲ以テ長官トシタノデゴザイマス、是モ各國ノ多數ノ實例ガサウナッテ居ルノデゴザイマス、軍裁判制度ト云フモノハ、何ノ爲メデアルカト云フト、軍紀ヲ肅スル爲メノ要具デアリマスカラ、軍紀ノ維持ニ就テ全責任ヲ帶ビテ居ル所ノ長官ハ、裁判ニ干涉ハ許サナイケレドモ、其方ヲ正ス機關ガアッテ、サウシテソレニ向ッテ法ヲ正サシムルト云フ必要ガアルノデ、是モ各國ノ制度ガサウナッテ居リマス、ソレカラ先刻申サレマシタ如ク、訴追機關トシテ檢察官ヲ置イタノデアリマス、現行制度ニハ第一斯ウ云フモノハ無イノデアリマス、檢察官ヲ置キマシタケレドモ、全然獨立ノモノトハ致シマセズシ

テ、起訴不起訴ノ實權ハ矢張長官ヲシテ行ハシムルコトニ致シマシタ、ソレカラ豫審機關トシテ豫審官ト云フモノヲ置キマシタ、普通制度ノ豫審判事デアリマス、是モ豫審ヲ致シマス上ニ於テハ、全然不羈獨立ノモノデアリマス、併シ豫審ヲ始メルト云フ事ハ、己ノ職權ヲ以テ始メルノデナクシテ、長官ノ命令ニ基イテ檢察官ガ請求スル、其檢察官ノ請求ガアッテ始メテ豫審ニ附スル、是モ軍裁判官ノ特色デアリマス、ソレカラ軍事裁判所、即チ軍法會議ノ管轄ノ事デアリマス、是モ特定ノ軍法會議ノ管轄ニ屬スルモノハ、其軍法會議ノ長官ノ配下ニ在ル者、長官ニ隸屬スル者、即チ長官ノ指揮權ト軍法會議ノ裁判管轄權トヲ爲シ得ル限リ一致セシメタノデアリマス、是モ多數ノ制度ガサウナッテ居リマス、ソレカラ辯護上訴等ノ制ヲ置キマシタケレドモ、主トシテ戰地、殊ニ敵前作戰ノ爲メニ行フ所ノ占領地、サウ云フ所ニ設ケマス所ノ特設軍法會議ニ於テハ、此制ハ用キナイ事ニナッテ居リマス、是モ必要カラサウ致シマシタ、實行セントスルモ、多クノ場合ニ行ハレヌト云フ趣旨カラサウ致シマシタ、ソレカラ上訴制ヲ置キマシタケレドモ、法律違背ヲ理由ト致シマス所ノ上告ニ止メマシテ、事實覆審、即チ控訴、普通裁判制度デ申シマス抗告、是等ノ制ハ設ケマセヌ事ニ致シマシタ、ト云フモノハ第一審ニ原告官、被告ニ辯護人ヲ附ス、法廷ニ於テ普通裁判ト擇バヌ辯論ヲスル、一ノ裁判事件ニ於テハ是マデハ軍人ダケデ裁判ヲスル、サウシテ理事トカ、主理トカ申ス審問官ハ僅ニ其構成ノ外ニ立ッテ何ト申シマスカ、裁判官ニ對スル助言者ト云ハンガ如キ地位ニ居ッタノデアリマス、半バ豫審官ノ仕事ハシテ居リマシタ、今度ハ一ノ裁判事件ニ就テハ、公判判事ト等シキモノニ、專門官ガ一審ニハ一人、上告審ニハ二人、原告官タル檢察官モ專門法官デアアル、豫審官モ專門法官デアアル、斯ウ云フ事ニ致シマシタカラ、先ヅ此度ノ改正トシテハ上告ダケデ宜シイ、又殊ニ抗告ヲ許シ、控訴ヲ許セバ、軍法會議ノ最モ厭フ所ノ訴訟ノ延滞ヲ來スノデ、是ハ上告ダケニ止メマシタ、又控訴抗告ヲ許シマセヌニ付テハ、外ニモ理由ガアリマス、ソレカラ辯論ノ公開ヲ止メマス理由ハ、

普通裁判制度ニ於ケルト同ジ事デアリマス、併ナガラ其外ニ軍事上ノ利益ヲ保護スル必要アル時ト云ハシガ如キコトガ加ッテ居ルノデアリマス、是等ハ爲シ得ル限リ普通ノ刑事裁判制度ト擇ブナカラシメント努メタノデアリマス、ケレドモ軍事裁判ノ特色トシテ今申シマシタヤウナコトハ、是非必要デアルトシテ保存シテ置キ、或ハ新ニ設ケタノデアリマス、是モ此案ノ特色デナクシテ、多クノ軍事裁判制度ガサウナッテ居ルノデアリマス、右ノヤウニ致シマシタケレドモ、軍事ノ利益ト相關セザルコトニ付テハ、爲シ得ル限リ普通法ノ規定ニ從フ事ト致シマシタ、所ガ普通ノ刑事訴訟法ハ早晚改正ノ運命ニ屬シテ居ルノデアリマス、ソレデ私共普通ノ刑事訴訟法ノ審議ノ職務上ノ關係カラモウ二十年ニ近ク臨ンデ、審議ノ狀態モ知ッテ居リマス、ソレデ爲シ得ル限リハ刑事訴訟法ノ改正ノ時期ヲ待ッテ、此陸海軍ノ治罪法モ改正シタイト云フ希望デアリマシタ、所ガ御承知ノ如ク刑事訴訟法ノ改正調査ハ、甚ダ進行ガ遅タトシテ、今後何レノ時期ヲ以テ改正ガ出來ルカ分ラヌノデアリマス、ソレデハソレマデ待ッテ居ルカト申シマスニ、御承知ノ如ク極メテ簡單幼稚ナ狀態デアリマスカラ、今日ノ時勢ノ要求ニハ、到底應ズル事ヲ得ヌノデアリマス、ソレデ四十年來衆議院トモ御約束ヲ致シマシテ、吾々ハ眞面目ニ調査ヲシテ居リマシタガ、サウ何時マデモ刑事訴訟法ノ調査ヲ歩調ヲ合セテ、向フノ改正ノ時期ヲ待ツト云フ事ハ許サヌノデアリマス、現ニ衆議院デハ改正ガ急ニ出來ナケレバ、單行法律ヲ以テマデモ局部ノ改正ヲスレバ宜イデハナイカト云フ御催促モアッタ次第デアリマス、ソコデ急ニ改正ヲスルト云フ事ニ詮議ヲ致シマシタガ、今ノ如ク軍事ノ利益ト相關セザル事柄ニ就テハ、普通法ノ規定ニ從フト云フ事ニ致シマシタガ、其普通法即チ現行刑事訴訟法ハ、早晚改正ニナル、ソレカラ又私等ガ見マシテモ隨分又不備ナ點モアルヤウデアリマス、サスレバ寧ロ刑事訴訟法ノ改正案ヲ探ル事モ、鵜呑ニ致シタノデハナイノデアリマス、十分審議ヲ盡シタ積リデアリマス、ソレデ現行刑事訴訟法ノ規定ニ依ラズシテ、改正刑事訴訟法ノ規定ヲ原則トシテ採

用スル、斯ウ云フコトニ致シテ譯デアリマス、然ルニ改正刑事訴訟法案ノ規定ハ、現行法ト大分違ッテ居ル所ガアリマス、之ヲ刑事訴訟法ノ改正ニ先ダッテ陸海軍軍法會議法デ、此改正ヲ先ヅ實行シテ差支ガアルモノデアリカ、如何デアラウカト云フコトガ、重要ナ問題トナリマシテ、此點ニ就キマシテモ、慎重ナ審議ヲ盡シテ積リデアリマス、所ガ多クノ規定ハ差支ナイ、軍法會議ト普通裁判所トハ目的ヲ異ニシ、訴訟手續ヲ或ル程度ニハ異ニシテ居ルカラ、強テ現行刑事訴訟法ノ規定ノ如クスル必要ハナイト云フコトニ論議ヲ致シマシタ、サウシテ遂ニ改正刑事訴訟法ノ規定ヲ採ルコトニ致シマシタ、採ルコトニ致シマス上ニ就テモ、悉ク鵜呑ニシタ譯デアリマス、ソレカラ現行ノ刑事訴訟法ガ此儘行ハレテ居ルノニ拘ラズ、陸海軍裁判制度トシテ改正刑事訴訟法ノ規定ヲ採用シテ、何カ不都合ナコトハアリマセヌカト云フコトモ詮議致シマシタ、是モ大體ニ於テ不都合ハナイ、併シ局部ニ於テ是ハ採用シテハ宜シクナイト云フコトヲ認メタ點モアリマス、ソレハ此法案ノ附則ト云フ所ニ慮リマシテ、其救済ヲシテ居ル譯デアリマス、ソレ右ノヤウナ次第デ現行制度ノ甚ダ不備ナ點ヲ改メマシタ、顯著ナル事項ハ先刻來申シマシタ通りデアルガ、ソレニモ拘ラズ軍事裁判トシテ特色ヲ存セシケレバナラヌコトハ、依然トシテ特色ヲ存スル、ソレカラ軍事ノ利益必要ト相關セザルコトハ普通裁判制度ニ依ル、是ハ此案ノ特色デハナクシテ、各國ノ軍事裁判所制度ガ少クモ近世ノ制度ハサウナッテ居リマス、軍事ノ必要ト相悖ラヌ限りハ、普通制度ヲ採ル、ソレカラモウ一步進ンデ申上ゲマス、普通法ノ改正ニ先ダッテ軍事裁判所法ガ改正ヲシタ其時ニハ、普通法ノ舊法ニ據ラズシテ、改正案ヲ採ッタト云フ例モアル様デアリマス、デ現行刑事訴訟法ト改正刑事訴訟法トハ、大體ニ於テドウ云フ事ガ違ッテ居ルカ、簡單ナ理由書ノヤウナモノハナイカト云フ御話デアリマス、ソレハ御參考ニ供スルヤウナモノハ持ッテ居リマセヌ、持ッテ居リマセヌケレドモ、自分等ノ見ル所デハ、サウ違ッテ居ラヌ、多年ノ經驗ニ徴シテ、不備

デアル缺點デアルト云フ所ガ改メラレテアル、又學說ニ依ッテ變ッテ居ル所モアッタ思ヒマスガ、唯ダ改正案ガ斯ウデアアルカラ斯ウダト云フ事ニハナッテ居リマセヌ、此陸海軍ノ法案トシテ適當デアル、相當デアルト見タノデアリマスカラ——デサウ云フ關係デ出來上リマシタ所ノ此法案ト云フモノハ、陸軍案ニ五百六十二條ト云フ大法案ニナリマシタ、之ヲ現行陸軍治罪法ノ僅ニ百一條カラ成ッテ居ルモノニ較ベマス、非常ナ改正デアリマス、大體申シマス、トシテナ事デアリマスガ、今之ヲ刑事訴訟法ノ現行制度ト改正制度ト比較シテ、ドノ點ガドウ云フ風ニ違ヒマスト云フ事ヲ申シマス、トハ、隨分難儀ナ事デアラウト思ヒマス、併シ刑事訴訟法ノ改正ハ斯ウデアアルカト云フコトデアリマス、御答シマスガ、私ノ差向キ申上ゲタイコトハソレダケデアリマス

○内田政府委員 只今陸軍次官及陸軍政府委員ノ說明ニ依リマシテ、法案ノ綱領ハ盡キテ居リマス、ノデアリマス、私ハ此法案ノ規定ノ中デ、主ナル部分ノ内容ニ就キマシテ、今少シク委シク申上ゲテ置イタ方ガ、御審査上ニ便宜デアルト考ヘマス、私ノ此說明ハ海軍法案ニ就テ申上ゲマス、陸軍案ノ内容モ亦同一デアルト御承知ヲ願ヒマス、此法案ハ之ヲ二編ニ分チマシテ、第一編ニ軍法會議ト題シマシテ、六章ニ分チマシテ、裁判權ニ關スルコト、管轄ニ關スルコト、職員ニ關スルコト、審判機關ニ關スルコト、豫審機關ニ關スルコト、檢察機關ニ關スルコトノ六章ニ分ケマシタノデアリマス、デ此部分ガ裁判所構成法ニ該當スル規定ニ相成リマス、第二編ノ裁判手續ガ是ハ刑事訴訟法ニ該當スル部分デアリマシテ、之ガ總則、始審、上告、再審、裁判執行ノ五章ニ分レマス、更ニ此總則ノ章ヲ大別致シマシテ、裁判官ノ除斥及回避、辯護及補佐、裁判、書類、送達、期間、被告人ノ召喚勾引及拘留、被告人訊問、押收及搜索、檢證、證人訊問、鑑定、通譯ノ十三節ト致シマシテ、始審ノ章ヲ細別致シマシテ、搜查、豫審、公訴、公判ノ四節ト致シマシテ、外ニ附則ヲ置キマシタ、結局海軍案ハ五百六十一條ト相成リマス、各條各

節ニ就キマシテノ說明ハ、追々其條節ニ就テ申上ゲル方ガ御分リニナルト思ヒマス、只今ハ此法案全體ノ中、主要ナル部分ニ付キマシテ、內容規定ノ大要ヲ申上ゲルニ止メル積リデアリマス、第一ニ軍法會議ノ裁判權ノ範圍ヲ如何ニ定メルカト云フ點ニ就キマシテハ、軍法會議ハ特別裁判所ノ一デアルト云フ見地カラ、軍法會議ヲ設クル趣旨ニ鑑ミマシテ其範圍ヲ定メマシタ、ソレデ裁判ヲスル事物ノ範圍ニ就キマシテハ、刑事ノ裁判權ヲ有スルダケデアッテ、民事ノ裁判權ハ之ヲ有シナイ、現行ノ軍治罪法ハ、公訴ニ附帶スル私訴ノ裁判ヲ爲ス權限ヲ持チマスガ、本案ハ私訴ノ裁判制度ハ軍裁判上ニハ不適當デアルトシテ、之ヲ廢止致シマシタ、又被告人ニ於テ異議ナキ場合ニ限りテ、損害賠償ノ言渡ヲスルコトガ出來ルト云フ簡易ナル規定ヲ設ケマシテ、以テ之ヲ實際ノ便宜ニ應ズルコトノ出來ルヤウニ致シマシタ、之ハ海軍案ノ第四百十五條ニ書イテアリマス、刑事ニ屬シマス事項ノ裁判權ハ、原則トシテ犯罪ノ性質輕重ニ依ッテハ區別致シマセヌ、死刑ヨリ拘留科料ノ罪ニ至ルマデ裁判權ニ屬シ、且其罪質ガ軍刑法ノ罪デアルト、其他ノ刑事法ノ罪デアルトコトヲ問ハズシテ、軍法會議ノ裁判權ニ屬セシムルノデアリマス、唯ダ特定ノ人ニ付キマシテ、又ハ或ル特定ノ場所ニ於キマシテ起ッタ犯罪ニ付テ、特ニ罪質ヲ制限ヲシタ規定ハアリマセヌ、例ヘバ制服着用中ノ在郷軍人ガ、軍刑法ノ罪ヲ犯シタルトキニ於テハ、是ハ軍法會議ノ管轄權トスル、又ハ、合圍地ニ於テ犯シタル罪、若クハ戰時事變ノ際ニ犯シタル或ル特殊ノ犯罪ニ付テハ、常時ニ對スル裁判權ヲ有スト云フコトニ致シマシタ規定ノ如キガ是デアリマス、ソレカラ軍法會議ノ裁判權ニ屬スル人ノ範圍ニ付キマシテハ、大體現行法ト同ジク致シマシテ、現役軍人、召集中ノ在郷軍人、軍屬、學生、生徒、海軍ニ勤務シテ居ル陸軍軍人、海軍用船ノ船員部隊ニ從屬スル軍人軍屬以外ノ者、俘虜、是等ノ者ノ犯罪ハ、原則トシテハ軍裁判權ニ屬スルモノデアリマス、此他ニ或ル特殊ノ人ニ付キマシテ、特定ノ犯罪ニ付テ軍裁判權ニ屬スル人ガアリマス、次ニ軍法會議ノ設置デアリマスガ、軍法會議ニハ常設

ト特設トノ二通りアリマシテ、特設軍法會議ハ、或ル必要ノ期間ニ限ツテ之ヲ設ケルノデアリマス、ノレデ法案ニハ特別軍法會議ト云フ名ヲ附ケマシタ、海軍ノ常設軍法會議ハ、高等軍法會議、東京軍法會議、鎮守府軍法會議、要港軍法會議、是ダケガ常設軍法會議デアリマス、艦隊軍法會議、合團地軍法會議、臨時軍法會議、是ガ特設軍法會議ト云フコトニナリマシテ、臨時性ノモノデアリマス、此中要港部軍法會議ナルモノハ、現行法ニハ無イ規定デアリマス、此法案ニ於キマシテ、新シク之ヲ設ケルコトニ相成リマシタ、但シ要港部ニ依ツテハ、軍法會議ノ設置ヲ必要トセザル場所モアリマスノデ、左様ナ場所ニハ之ヲ設ケザルコトガ出來ルト云フ特例ヲ置キマシタ、次ニ長官ニ關スル規定ハ、只今陸軍政府委員ノ述ベマシタ通り、軍裁判制度ハ、軍紀維持ノ責任アル者ト軍法會議ト密接ナ關係ヲ保タシムルト云フコトガ通例ノ規定ニ相成ツテ居リマスノデ、此案モ第十條ニ掲ゲテ居ル所ノ長官、即チ海軍大臣、鎮守府長官、要港部司令官、軍法會議ヲ設ケタル部隊又ハ地域ノ指揮官、是ダケノ者ハ海軍ノ全般又ハ一方面ノ軍紀ヲ維持スル責任者デアリマスノデ、之ヲ長官ト云フコトニ致シマシタ、長官ニハ軍裁判制度ニ於テノ關係程度ヲドウ云フコトニ定メルカト云フコトニ就キマシテハ、最重要ナル點デアリマス、此案ハ其關係ヲ長官ノ指揮權、監督權ノ範圍ガ、軍法會議管轄ノ基本ト云フコトニ相成リマス、ソレカラ檢察機關ニ對シテノ長官ノ指揮權ヲ行フコト、軍法會議職員ノ任免ノ權利、是ダケニ本案ハ長官ノ權限ヲ止メニシタ、ソレデ現行法ニ規定シマシタ、裁判確認ノ制度ハ廢メタルデアリマス、此長官ガ軍法會議法ニ於キマシテ有スル所ノ權限ハ、現行法ニ比シマシテ縮小セラレタル譯ニ相成ルノデアリマス、次ニ軍法會議ノ職員ノ事ヲ少シク申上ゲマス、職員ニ判士、法務官、錄事及警査、是ダケ置キマス、判士ハ將校ヲ以テ之ニ充ルト云フコトニ相成リマス、海軍將校ニハ二類アリマシテ、兵科將校、機關科將校デアリマス、此兵科及機關科將校ハ、共ニ判士タル資格ガアル人デアルト云フコトニ致シマシタ、法務官ハハ文官デアリマシテ、

勅任又ハ奏任ト云フコトニ致シテ居リマス、終身官ニシテ、刑事裁判又ハ懲戒處分ニ因ルニ非ザレバ、其意ニ反シテ免官又ハ轉官セラルコトナシト云フ保障ヲ爲スト云フ事ニ規定ヲ致シマシタ、判士及法務官ハ、軍法會議ノ裁判官ニ相成リマス——軍法會議ノ裁判官ハ軍人ヲ以テ充ル事ガ特色ニ相成ツテ居リマス、併シ軍司法制度ハ文官ヲモ之ニ加ヘテ、混合主義ト爲ス必要ヲ認ムルニ至ツテ居リマス、將校裁判官ハ文官裁判官ノ如ク常識者デアリマセヌ、軍事ヲ知ルト云フ人デアリマス、詰リ此常識アル人ニ依ッテ裁判スルト云フコトハ、其趣旨ニ於テ自然陪審裁判ノ趣旨ニモ合致スル譯デアリマス、更ニ陪審員ヲ加フルコトヲ必要トセザヤト云フコトハ——外國法ニ就キマシテモ、說明デアリマス、何レノ國ノ軍裁判ニ於キマシテモ、陪審制度ノ設ハ無イヤウデアリマス、法務官ハ裁判官タル外ニ、檢察官ノ職務ヲ行フ事、及豫審ノ職務ヲ行フ、其ニ之ガ長官ガ指定ヲスルト云フコトニ相成リマス、錄事、警査ハ判任若クハ判任待遇、錄事ハ裁判所書記ニ等シキ職務ヲ行フモデアリマス、警査ハ司法警察官トシテ捜査ノ補助ヲスル、及ビ書類ノ送達、令狀ノ執行ヲ掌ルモノデアリマス、次ニ檢察ノ大要ヲ申シマス、檢察機關ニ屬シマスル所ノ主ナル人ハ、檢察官、海軍司法警察官デアリマス、海軍檢察官ハ、法務官ノ中ヨリ長官ガ之ヲ命ズルト云フコトニ相成リマス、ソレカラ海軍司法警察官ハ、憲兵ノ將校下士、部隊ノ將校及海軍大臣ノ指定シタル司法警察官ヲ以テ之ニ充ルコトニ致シマシタ、憲兵ノ將校下士ハ、現行法ニ於キマシテハ海軍警察官デハナイノデアリマス、法案ニ於キマシテハ、陸軍ト等シク海軍ニ於テモ司法警察官ト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ海軍大臣ハ公訴及捜査ニ付キマシテ、指揮監督ノ權ヲ有スルコトヲ法文ニ明カニ致シマシタ、長官ハ各所管事項ニ就キマシテ、公訴及捜査ノ責任ヲ有シマス、檢察官又ハ海軍司法警察官ガ檢査ノ職務ヲ行フニ當リマシテハ、長官ノ指揮ノ下ニ立ツト云フ事ニ相成リマス、檢察官又ハ海軍司法警察官ガ犯罪ノ捜査ヲ爲シマスルニ就キマシテハ、其目的ヲ達スルニ必要ナル所ノ取調ベヲ致

スコトガ出來マス、併シ此強制力ヲ用ユル所ノ處分ハ、現行犯其他之ニ規定ヲ致シテ居ル場合ノ外ハ、之ヲ用ユルコトヲ許サヌノデアリマス、檢察官ハ豫審ヲ開キマス開始前ニ、豫審官ニ向ツテ押收搜索其他ノ強制處分ヲ請求スルコトガ出來ルト云フ權限ヲ有シマス、此請求ヲ致シマスル權ハ、檢察官ダケガ持つテ居リマシテ、海軍司法警察官ハ其請求權ハ無キモノデアリマス、檢察官又ハ司法警察官ガ捜査ヲ終リマシタ場合ニハ、長官ニ捜査報告ヲ致シ、又ハ他ノ相當ノ官廳ニ事件ヲ送ルト云フコトニナリマス、長官ガ檢察官又ハ司法警察官カラ捜査ノ報告ヲ受ケタルトキニハ、檢察官ニ對シテ事件ノ處理上ニ必要ナル命令ヲ發シマス、其命令ノ種類ハ、直ニ公訴ヲ起スベキモノト思量スルトキニハ、公訴提起ノ命令ヲ發シマス、豫審ニ付スルコトヲ必要ト思量スルトキニハ、豫審請求ノ命令ヲ發シマス、軍法會議ノ權限ニ屬セザルトキ、又ハ管轄違デアルトキニハ、其相當官廳ニ送ル旨ノ命令ヲ發シマス、ソレデ檢察官ハ捜査ノ結果ニ依リマシテ、自分ノ考ノミデ更ニ進ンダル所ノ行動ヲ起ス權利ナクシテ、長官ノ意圖ニ從ツテ行動スルモノデアリマス、ソレカラ艦隊軍法會議ノ長官ハ、捜査ノ報告ヲ受ケタル場合ニ於テ必要ガアルト思量シタトキニハ、被告事件ヲ東京軍法會議其他ノ陸上軍法會議ノ長官ニ移送スル事ガ出來ルト云フ規定ヲ設ケマシタ、其事件ノ移送ヲ受ケタル長官ハ、捜査ノ報告ヲ受ケタルモノト看做シテ處分スルノデアリマス、此規定ハ海軍ニ特有ノモノデアツテ、陸軍ニハ無イ規定デアリマス——引續イテ説明ヲ致シテシマヒマセウカ

○委員長(鵜澤總明君) 最早時間デアリマスカラ、午後引續イテ御説明ヲ願フコトニシテハ如何デスカ
(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長(鵜澤總明君) ソレデハ休憩致シマス
午後零時十五分休憩

午後一時五十九分開議

○委員長(鵜澤總明君) 午前ニ引續イテ開會致シマス、内田政府委員

○内田政府委員 法案ニ採用致シマシタ豫審制度ノ概要ヲ申上ゲマス、豫審制度ハ現行ノ軍治罪法及刑事訴訟法ノ制度トハ違ッテ居リマス、豫審ノ本質ハ判決軍法會議ニ於テ審理ヲ開クカ否カラ決定スル爲メニ必要ナル材料ヲ蒐集メルト云フノガ、豫審ノ目的デアルト考ヘテ居リマス、故ニ取調ノ材料ニ依ッテ罪ノ有ルヤ無シヤヲ判斷シ得ル程度ニ至ラナクトモ、判決軍法會議ノ判斷ヲ求ムル所ノ前提トシテ、十分ナル犯罪ノ嫌疑アルカ否カラ決定スル程度ニ至ルナラバ、豫審ノ目的ハ達シタルモノト云フコトニ相成ルノデアリマス、此趣旨カラ致シマス、豫審ト搜查トハ、形式ハ異ッテ居リマス、目的ハ同一ニ相成ルノデ、搜查ハ檢察官ナリ又ハ司法警察官ガ致シマス、證據材料ノ蒐集方法デアリマシテ、是ハ行政ノ系統ニ屬スルモノ、豫審ハ豫審官ノ主宰スル所ノ證據材料ノ蒐集方法デアッテ、司法處分ノ範圍ニ屬スルモノガアルト云フコトニ頭ヲ置イテ居リマス、ノデ、ソレデ只今申上ゲマス、豫審ハ司法機關ノ管掌ニ屬スル所ノ司法手續デアルト云フコトカラシテ、豫審官ハ自ラ進ンデ發動スルコトナクシテ、必ズ檢察官ノ請求ニ依ッテ始メテ豫審ヲ開始スベキモノデアルト云フ立前ニ致シマス、ソレデ此豫審ノ請求ハ、判決軍法會議ニ關スル審判ノ請求トハ全く本質ヲ異ニ致シマス、此案ニ於キマシテハ判決軍法會議ニ對スル刑罰權ノ確定ヲ求メル手續ノミノ公訴ノ提起ニ在ルト云フコトニ致シマシテ、豫審ノ請求ハ、現行刑事訴訟法ノ如ク公訴ノ提起後ト致シマセズシテ、搜查ト同ジコトニ公訴提起前ノ手續ト致シマシタノデ、豫審ヲ以テ公訴提起前ノ手續ト爲スカ、又ハ公訴提起ノ手續ト致スカト云フコトニ就テハ、二通りノ主義ガアリマス、軍司法制度ニ於キマシテハ、特ニ之ヲ公訴提起前ノ手續ト致スコトガ正當デアルト云フコトニ決定致シマシタノデ、乃チ現行法ニ於キマシテハ、長官ハ判決確權ヲ持ッテ居リマシタガ、此法案デハ確認ノ制度ヲ廢止致シマシタカラ、長官ハ豫審ノ結果ニ依リマシテ起訴又ハ不起訴ヲ決定スル所ノ權限ヲ留保スルコト云フコトハ、軍紀上カラ見マシテモ極メテ必要ナル事デア

ト致シマシテ、比較的近世ノ立法例ヲ參酌致シマシテ、起訴前豫審主義ヲ採用スルコトニ相成ッテ次第デアリマス、豫審ノ實行ハ檢察官ノ豫審ノ請求ノアリマシタ後ニ豫審官ガ之ヲ爲スト云フコトニ相成リマス、豫審官ハ先ニ申上ゲマス、豫審ノ實行ニ就テハ、カラ長官ガ之ヲ命ジマス、豫審ノ實行ニ就テハ、法案ノ第三百二十三條以下ノ規定及總則ノ規定ニ依リマシテ、被告人ノ訊問、證人訊問、押收、搜查、其他必要ナル處分ヲ致スコトガ出來ル、檢察官及被告人ハ豫審中ニ證據ノ蒐集其他必要ナル處分ヲ豫審官ニ向ッテ請求スルコトガ出來ルコトニ相成ッテ居リマス、是等ノ請求權ニ就キマシテハ、現行法ニ全ク無カリシ規定デアリマス、被告人ノ權利ヲ考ヘマシテ、諸所ニ其權利ヲ認メタ規定ガ澤山ニアリマス、豫審中ノ辯護人ハ、此法案ニ於テハ之ヲ認メテ居リマセス、隨テ辯護人ガ被告人ニ代ッテ豫審處分ヲ請求スル場合ガ生ジテ參リマセス、併シ只今申上ゲマス、通リニ、豫審ニ於テ被告人ノ防禦權ハ之ヲ保護スルコトニ勉メテ居リマス、豫審官ガ事件ニ就テ必要ノ取調ヲ致シマシタトキハ、書類及證據物ヲ檢察官ニ送付シテ、檢察官ハ意見書ヲ附シテ長官ニ豫審終了ノ報告ヲ致シマス、豫審ヲ終リマシタトキ、判決軍法會議ノ審理ヲ求ムルカ否カラ決定スル權限者ヲ、豫審官ト致シマス、又豫審官以外ノ者ノ權限ト致スカト云フ點ニ就テ、是亦現行法及現行刑事訴訟法トハ規定ヲ違ヘテ居リマシテ、法案ノ採リマシタ所ノ起訴前豫審主義、又後ニ申上ゲマス、公訴ノ任意主義ノ結果、豫審ノ結果ニ對シマス所ノ處分ノ判斷權ハ、長官ニ屬セシムルノガ適當デアルト云フ事ニ致シマシタ、即チ長官ハ終了ノ報告ヲ受ケマシタ場合ニハ、檢察官ニ對シテ起訴スベシ、又不起訴ヲ爲スベシ、又ハ他ノ管轄ノ軍法官廳、其他ノ相當官廳ニ送付スベシ、其何レカノ命令ヲ發スルコトニ致シマス、檢察官ハ此長官ノ命令ノ趣旨ニ從ッテ、事件ノ處理ヲ致シテ參リマス、搜查又ハ豫審終了ノ結果、事件處理上ノ決定權ハ長官ガ之ヲ有シ、檢察官ハ上官ノ命令ノ執行者ニ過ギナイト云フ點ハ、軍司法制度ノ特有デアリマシテ、檢事ノ權限トハ此點ニ於

テ大ナル相違ノアルモノデアリマス、次ニ公訴ノ事ニ就キマシテ少シク申上ゲマス、本案ハ犯罪ノ訴追ハ長官ノ命令ニ依ッテ、檢察官ガ之ヲ行フト云フ事ニ致シマシタ、如何ナル場合ニ於キマシテモ、統一主義ヲ貫キマシテ、之ニ對シテノ例外ヲ認メテ居リマセス、隨テ被害者ハ告訴ト云フ事ニ依ッテ檢察官ノ公訴提起ヲ促スコトガ出來マス、自分ハ犯罪ヲ訴追スル所ノ權限ヲ持ッテ居リマセス事ニ相成リマス、本案ノ檢察官ノ犯罪訴追上ニ就キマシテ、任意主義ヲ執リマシタ、犯罪ノ情狀ニ依ッテ、必ズシモ訴追スルコトヲセザルモノト云フ主義ヲ執リマシタ、現行ノ軍治罪法ニ於キマシテモ、此點ニ就キマシテハ、別段明文ハ置イテアリマセスケレドモ、從來實際ニ於テ任意主義ヲ行ッテ參リマシタガ、好結果ヲ得テ居ルト云フ事實ニ鑑ミマシテ、本案ニ於キマシテハ訴追任意主義ヲ明カニ致シマシタノデアリマス、公訴ノ提起ニ就キマシテ、任意主義ヲ長官ニ就テ認メマシタカラシテ、公訴ノ提起後ニ於テ公訴ノ實行上ニ於キマシテモ、公訴ノ處分權ヲ認メルノガ相當デアルト云フ事ニ致シマシテ、本案ハ一旦公訴ヲ起シタモノニ就キマシテモ、檢察官ハ長官ノ命ニ依リマシテ、公訴ノ取消ガ出來ルト云フ事ニ致シマシタ、是亦現行軍治罪法及刑事訴訟法トハ大ナル相違ノアル點デアリマス、次ニ公判ニ就キマシテ大體ヲ申上ゲマス、公判ニ就キマシテハ、形式上三箇ノ——訴訟主格ト申シマス、訴訟ノ主體ヲ被告人及ビ軍法會議、判決裁判所ニ當リマス、所ノ軍法會議ナルモノガアル譯デアリマス、現行法ニ於キマシテハ、判決廷ニ於キマシテ訴追者ノ地位ニ立ッ所ノ檢察官ナル者ハ置イテアリマセス、本案ニ於キマシテハ公判規定ハ、隨分委シク之ヲ規定シテ居リマス、公判ハ公判期日ニ於キマシテノ審判ガ本體ト相成リマス、公判廷ノ組織ハ裁判官、檢察官、錄事ノ外、被告人、其他訴訟關係人が公判ニ在廷シテ之ヲ行フト云フ事ガ原則ニ相成リマス、隨テ或ル特定ノ場合ヲ除クノ外ハ、缺席判決ト云フ事ハ本案デハ認メザル事ニ相成ッタルデアリマス、是亦現行法ニ對スル大ナル變更デアリマス、公判ノ裁判官ハ、曩ニ申上ゲマシタ通りニ、判事及ビ法

務官ヲ以テ之ニ充テマシテ、判士ノ中ノ上席者ガ裁判長ト云フコトニ相成リマス、其裁判官ノ員數ハ五人デアリマシテ、特設ノ軍法會議ニ於キマシテハ、二人ヲ減ジテ構成スルコトガ出來マス、其裁判官ノ中デ武官カラ出マスル所ノ判士、文官ヨリ裁判官タル法務官ノ割合ハ、高等軍法會議以外ノ軍法會議ニ於キマシテハ、判士ガ四人、法務官ガ一人、高等軍法會議ハ判士ガ三人、法務官ガ二人ト云フ事ニ相成リマス、而シテ此判士タル所ノ將校ノ官等ハ、被告人ト同等以上ノ者デアアルト云フ事ガ必要ニ相成リマス、而シテ被告人タル者ノ地位ニ依リマシテ、判士タル將校ノ官等上ノ區分ヲ設ケテアリマス、高等軍法會議ノ判士ハ、其以外ノ軍法會議ノ判士ノ區分ニ比シマシテ、官等上ノ地位ハ一段高イ所ノ者ヲ以テ之ニ充テルト云フ事ニ相成ッテ居リマス、此公判ニ於キマシテ、出廷致シマスル者ノ中ニ、辯護人ナル者ヲ本案ニ於テ認メマス、ソレニ就キマシテ少シク申上ゲマス、公訴提起ノアリマシタ後ニハ、被告人又ハ被告人ノ法定代理人、保佐人又ハ夫ハ、何時ニテモ此辯護人ヲ選任スルコトガ出來ルト云フコトニ致シマシタ、ソレカラ死刑、無期又ハ短期一年以上ノ懲役、又ハ禁錮ニ當ルベキ事件ニ就キマシテハ、辯護無シニハ公判ヲ開クコトガ出來ナイト云フコトニ致シマシタカデ、其時ニ於キマシテハ、私選ノ辯護人ガ居リマセストキニハ、官選辯護人ヲ附スルト云フコトニ相成リマス、其他或ル特定ノ場合ニ於テハ、軍法會議ハ職權ヲ以テ辯護人ヲ附スルコトノ出來ル場合ヲ二三規定致シテ居リマス、辯護人ハ將校、將校相當官、海軍高等文官、及文官試補、及指定シタル辯護士ノ中カラ選任ヲスルト云フコトニ致シマシタ、辯護人ハ被告人一人ニ付テ二人マデハ許ス、二人以上ハ之ヲ許サスト云フコトニ致シマシタ、一事件ニ付テ其犯者ノアリマスル場合ニハ、各人ニ付テ二人迄ハ差支ナイト云フコトニ相成リマス、此員數ノ制限ハ一人ニ付テ二人ヲ以テ辯護ニハ十分ナリト致シタノデアリマシテ、辯護權ノ制限デハナイノデアリマス、無制限ノ辯護人數ハ、軍司法制度ニハ不當デアルト考ヘマシタノデアリマス、ソレカラ上告ノ事ニ就キマシ

テ概略ヲ申述ベマス、現行法ニ於キマシテハ一審即チ終審デアリマシテ、裁判ハ言渡ト同時ニ確定ヲ致ス、唯ダ言渡前ニ判決ヲ長官ニ具申シマシタ場合ニ、長官ガ其判決ニ對シテ法律ノ違背ヲ理由トシテ、同一ノ軍法會議ニ再議ヲ命ズルコトノ出來ル場合ガ認めテアリマス、被告人ハ判決ヲ不當ト考ヘマス場合ニ於テモ、確定前ニ其矯正ヲ求ムル所ノ途ガ無カッタノデアリマス、本案ノ上訴制度ニ就キマシテハ、前ニ他ノ委員ヨリ述ベマシタ通り、上告ニ限リマシテ、事實覆審ノ點ニ就キマシテモ、控訴制度ハ之ヲ認メマセストコトニ致シタノデアリマス、是ハ軍司法制度ニ於キマシテハ、已ムヲ得ザル規定デアラウト考ヘテ居リマス、上告ハ始審軍法會議ノ判決ニ對シテ之ヲ爲スコトガ出來マス、併シ特設軍法會議ノ判決ニ對シテハ之ヲ許サス、萬一特設軍法會議ノ判決ニシテ錯誤ノアル場合ニ於テハ、非常上告又ハ再審ノ規定ニ依ッテ救済セラル、モノデアアルト云フコトニ致シマシタ、上告ノ理由アリトシマスル場合ハ、十七箇條ダケ法案ニ掲ゲテアリマス、此場合ハ法案ニ掲ゲマシタ十七箇ノ場合ハ、常ニ上告理由アルモノニ相成リマスルガ、其以外ノ法令違反ノ場合ニ付テハ、判決ニ其違背ガ影響アリヤ否ヤト云フコトニ依ッテ、上告理由トナルトナラザルト區別スルト云フコトニ致シマシタノデアリマス、上告ノ審判ニ付キマシテハ、大體現行ノ刑事訴訟法ノ規定ト大ナル相違ハアリマセス、右ノ規定ヲ取捨致シマシタ點ハ多少アリマスルガ、其方式及主義ニ於キマシテハ、餘リ違ヒハゴザイマセス、此點ハ略シマス、デ只今マデ申上ゲタ點ガ此法案ノ中樞トモ相成ルベキ所ノ點デアラウト考ヘテ居リマス、陸海軍ノ法案ガ大部分同様デアリマス、其中陸軍ニ有リマシテ海軍ニ無キ規定、又海軍ニ有リマシテ陸軍ニ無キ規定ガ僅ニアリマス、海軍案ニ於キマシテ三百二十二條、三百三十三條五百四十一條、是ハ何レモ艦隊軍法會議ノ長官ガ、東京鎮守府、其他陸上所在ノ軍法會議ニ事件ヲ移送スル所ノ規定デアリマス、陸軍案ノ五百四十二條、五百四十三條、五百五十四條、五百六十一條、是等ハ陸軍ニ有リマシテ、海軍ニ無キ規定デアリマス、此規定ハ現行

法ノ再審ニ關シマスル規定ガ陸海軍異ッテ居リマス、其結果此附則ニ於テ規定ノ相違ヲ生ジタ、及ビ内地ニ在ラザル師團ニ關係シマシタ點等デアリマス、其他ハ陸海軍共雙方ニ規定ガアリマス、而モ軍ノ組織及事情ヲ異ニ致シマスル爲メニ、内容ニ多少ノ相違ノアル規定ガ十數箇條アリマスル外ハ、殆ド陸海軍規定ヲ同ウ致シテ居リマス、是以上改正案ガ現行軍治罪法ト比較致シテ、ドレダケノ差異ガアルカト云フコトヲ、一々其箇條ニ當ッテ委シク申上ゲマスルコトハ、更ニ御審議ノ際ニ申上ゲル方ガ便宜ト考ヘマスノデ、只今ハ之ヲ省略致シテ置キマス、私ノ大體ニ就キマシテノ御話ハ是デ終リマス

○荒川五郎君 只今マデニ於テ陸海軍次官竝ニ主事ヨリ御説明ガアリマシタ、大體ハ承知致シマシタガ、何分浩濬ナモノデアリマシテ、マダ内部ノ箇條ニ就テハ一讀致シテ居リマセスガ、茲ニ大體ニ於テ質疑ヲ致シタイノハ、只今ノ御説明ニ依ッテモ、陸軍ト海軍トノ差ハ無イト云フ話デ、海軍ニハ軍艦艦隊ト云フモノガアリ、ソレニ依ッテ特別ノ箇條ガアル、陸軍ニハ再審ノ手續トカ、或ハ在外師團ト云フヤウナ事ニ止ッテ居ルヤウニ承ッテ居ル、然ラバ此兩大法典ヲ一括シテ、陸軍海軍軍法會議法トスル事ハ何等差支ナイノミナラズ、却テ管シク各別ニ兩法案トスルヨリ便利デアラウト考ヘルノデアリマス、既ニ此内容ニ於テモ、憲兵ヲ以テ司法警察ノ事務ニ從事セシムルニハ、從來憲兵ナルモノハ陸軍ノ軍人デアッタ、其者ニ更ニ海軍ノ裁判事務ニモ司法事務ニモ干與セシムルト云フヤウナ事ニナッテ、彼等ヲ相融通スルコトハ、從來ノ制度ヨリ以上デアアル、隨テ或ハ艦隊、或ハ在外師團ト云フ一部分ニ、特別ノ規定ヲ要シマスケレドモ、ソレハ詳細ノ規定ニ於テ立テ得ラレルコトト思フ、私ハ常識ノ判斷ヲ以テ、此二ツノ法典ヲ一括シテ、陸海軍軍法會議法トセラル、コトガ至當デアラウト心得マス、茲ニ長年ノ審議ヲ盡サレテ、從來陸軍海軍ノ氣風ヲ破ッテ普通裁判ノ主義ヲ採ラレテ、非常ナル進歩シタル法案ヲ此所ニ出サル、上ニ於テハ、ソレ等ノ事ニ就テハ定メテ御審議ニモナッタ事ト思ヒマス、私モ第一ニ其點ヲ疑フノデアリ

マス、此兩案ヲ一括シテアルコトガ出來ナイカ、出來ナケレバ其理由如何、之ヲ第一ニ御尋致シマス

○志水政府委員 御答致シマス、唯今ノ御疑問ニ對シテハ、陸軍海軍兩案ヲ合シテ陸海軍會議法ト謂ハンガ如キ、一ツノ法典ニスル事ガ出來ナイコト

デアリマセヌ、可能ナ事デアリマス、デハ十分審議ヲ盡シマシタ次第デアリマス、是ハ要スルニ歴史沿革等ガ主トナツテ居リマス、即チ明治四十一年デアリ

マシタカ、陸軍海軍ノ刑法ヲ改正致シマシタ時分ニ、同様に議論ガ起リマシタ、一緒ニシタラドウカト云

フ事デアリマシタ、其折モ一緒ニスル事ハ不可能ナ事デハナイ、可能ナ事デアアル、併シ從來陸海軍ガ別々

ニ獨立ノ刑法ヲ持ツテ來タ事デアアル、又特殊ノ方カラ言ツテ見テモ、是ハ各々見地ノ如何ニ依ツテ議論ハ違

ヒマスケレドモ、又別々ニスル方ガ宜イ事モアルト云フ御議論モアリマシタ、ソレハ陸海軍トモ成ベク

必要ノ事ニ止メテ、簡單ヲ貴ブト云フ方カラ、陸軍刑法ニハ陸軍ニ關スルモノダケヲ入レル、海軍刑法ニハ

海軍ニ關スルモノダケヲ入レル、斯ウ云フヤウナ議論モアリマシタ、要スルニ刑法ヲ一緒ニ致シマセナ

カッタノモ、矢張主ナル理由ハ、歴史沿革ソレカラ特殊論カラ、別々ニスルノモ亦得策デアアル、斯ウ云フ趣意

カラ別ニ致シタ、今度ノ軍法會議法案ニモ議論ガ起リマシタガ、既往ノ例モアルコトデアアルカラ別ニシ

ヤウ、斯ウ云フ事ニナリマシタ、ソレデ唯今ノ御意見ノ如ク、見地ノ如何ニ依ツテハ、便利ナ事モアリマス、

併シ又法典ノ變遷ガ陸軍海軍事情ヲ異ニシテ居ル爲メニ、其趣意ニ於テハ同ジヤウナモノガ、名稱ガ違ッ

テ居ルコトモアリ、法文ガ比較的簡單ニイカナイ事モアル、サウ云フ事カラ別々ニ致シマシタ、ソレカラ外國ノ事例モ參酌致シマシタガ、是亦區々ニナツテ居

所デハ陸海軍ノ制度ガ一緒ニナツテ居リマス、御參考ノ爲メニ外國ノ事ヲ申上ゲマス、トサウデアリマス、御意見ノヤウナ所モゴザイマス、又サウ云フ議論モ澤山ゴザイマスガ、本案ヲ斯ウ云フ體裁ニ致シマシ

タノハ、全ク今申上ゲタヤウナ事デアリマス

○荒川五郎君 從來ノ歴史竝ニ外國ノ實際等ニ就テ只今ノ御答辯ヲ得マシタ、其御答辯ヲ承ツテモ、尙ホ

私共ハ一括一法典ニセラレタ方ガ宜カラウト思フノデアリマス、陸軍海軍ハ鳥ノ兩翼、車ノ兩輪トカ言ヒ

マシテ、相對立シテ多クノ場合ニ觀念ヲ持ツト云フ事ハ從來モアツタ事デアリマス、今日ニ在テ

ハ、等シク國防ノ重任ニ當ルノデ、目的ニ於テハ違ハスノデアリマス、隨テソレカラ出ル事モ、成ベク

ナラバ合一セラル、事ヲ希望致スノデアリマシテ、例ヘバ航空機ノ如キニ致シテモ、陸軍海軍各々其研

究所、事業所ヲ持タレト云フコトモ、仔細ニ研究致シタナラバ、多少ノ其間ニ行キ途ノ相違ハアリマセ

ウガ、多數ノ場合ニ於テハ、成ベク一緒ニ出ルコトヲ私共希望致スノデアリマス、陸軍ノ軍法ト言ヘバ、格

別大シタ官吏デハナイニシマシテモ、多年ノ歴史ヲ持ツテ居ッテ、是ハ陸軍大臣ノ管轄ニ屬シ、陸軍制度ニ

服スル陸軍ノ軍人デアアル、然ルニソレヲ海軍ニマデモ推廣メル位ニナツタト云フコトハ、同一ノ點ニ於テ

非常ナル觀念ノ進歩ト心得ルノデアリマス、此以上ハ意見ニナリマス、茲ニ私共ノ希望ヲ唯ダ申上

ゲテ置クニ止メマス、次ニ是等ノ法典ヲ實施セラレルニ方リマシテハ、陸軍海軍ノ裁判ノ組織、或ハ其建物、役人、其増減、種々ナ事ニ影響スルト思ヒマスガ、

メニ初度費ヲ要シマス、ソレハ御承知ノ通りニ從來ノ軍法會議ハ、傍聴ヲ許シマス設備モゴザイマセヌ、例ヘバ辯護人ヲ許シ、辯護人ノ控所モ無イト云フヤ

ウナ狀態ニナツテ居リマス、ソレデ殆ド應急設備ト云フガ如キ狀態デ、必要ナ改築増築ヲ加ヘマス許リデ

モ、彼是二百萬圓位ノ經費ガ要ラウカト思ヒマスガ、政府デハ此法案ニ伴ヒマシテ、追加豫算ヲ提出スル

事ニナツテ居リマスガ、ソレハ先ヅ應急ノ就中應急處分ヲスルト云フヤウナ狀態デ、彼是百萬圓許リノモ

ノヲ請求スルコトニナツテ居ルカト心得マス

○荒川五郎君 唯今ノハ此法案ノ實施ニ伴ウテ、經常費ニ三十萬圓、ソレカラ臨時費二百萬圓、其内百萬圓ヲ本年度ノ追加豫算ニ要求スル、斯ウ云フ御説明

デアリマスガ

○志水政府委員 凡ソサウデス

○荒川五郎君 海軍ノ方ハ如何デアリマスカ

○内田政府委員 海軍ニ於キマシテハ、此年度ニ於キマシテ請求致シマスモノハ、定員ノ増加ニ伴ヒマ

シテ四萬七千圓許リノモノヲ請求致シマス、建物は、就キマシテハ、大部分從來建築致シマス際ニ、

法案ノ實施ヲ慮ツテ、多少ノ心ヲ以テ建築致シテ居リマシタノデ、内地ニ於キマシテノ軍法會議ハ、其儘

此法案實施ニ多少ノ修理ヲ加ヘマス、唯ダ要港部等ニ設ケマス場合ニ、其軍法會議ノ建築費ヲ要スル次第デアリマスガ、是ハ何レ法案成立ノ後ニ於キマシテ、篤ト要港部等ニ設ケル場所ニ就キマシテモ、

審議ヲ遂ゲマシタ後ニ請求シテ遅カラスト云フ考

デ、追加豫算トシテハ請求ヲ致シマセヌ豫定デ居リ

マス、隨テ此年度ニ於キマシテノ追加豫算トシテ請

求致シマス額ハ、僅ニ五萬圓許リノモノデアルト考

ヘテ居リマス

○荒川五郎君 此法律ガ實施セラレル場合ニナリマ

スト、多クノ官制ニモ變更ヲ要スル、憲兵條例ノ如キ

ニモ變更ヲ要スル、隨テ各方面ニ實施上御準備ガ要

ルコト、思ヒマスガ、ソレ等ニ就テ御調べガ出來テ

居ルノデアリマセウカ

○志水政府委員 官制ノ改正ニ就キマシテハ差向キ

ノ増額ヲ要スル積リデアリマス、ソレカラ建築ノ爲

餘リ必要ハ無イト認メテ居リマスガ、唯ダ茲ニ一ツ其必要ガアラウカト思ヒマスノハ、陸軍デハ理事ト申シマス、海軍デハ、主理ト申シマス、此兩官ノ如キハ、此改正制度デハ、陸軍ノ法務官、海軍ノ法務官ト云フコトニナリマス、其法務官ナルモノハ、詰リ軍法會議ノ職員トシテ始メテ生レ出ルト云フヤウナコトニ解釋シナケレバナラス、サウシテ此法務官ニハ裁判官程デハアリマセスケレドモ、此法案ニ於テ若干ノ身分ノ保障ガゴザイマス、是ガ從來ノ如ク陸軍省デゴザイマス、海軍省デゴザイマス、司法官トシテ生レ出カ官制ニ變更ヲ加ヘマセスト、其爲メニ何等テ且身分ノ保護アル者ガ、其資格ヲ以テ行政事務ニ從事スルト云フコトハ不適當デアラウト思ヒマスカラ、ソレニ若干修正ヲ加ヘナケレバナリマイト思ヒマス、ソレカラ其他憲兵デゴザイマス、何トカ云フ傍側ノ制度ニハ、少シモ變更ハ要シナイ見込デアリマス

○内田政府委員 唯今ノ御尋ノ憲兵ニ關シマス事ニ就キマシテ、補足ヲ致シテ置キマスガ、現行規定ニ於キマシテ、憲兵ハ身分ハ陸軍ニ所屬致シテ居リマスガ、現行憲兵條例ニ於キマシテハ、軍事警察ニ於テハ、陸軍大臣及海軍大臣ノ指揮ヲ受ケルト云フ事ニ相成ッテ居リマス、唯ダ現行ノ軍治罪法ノ上ニ於キマシテ、憲兵ハ陸軍檢察官デアッテ、海軍デハ檢察官デナカッタ、ソレガ海軍ニ在ッテモ陸軍ト同ジク司法警察官トナルト云フコトニ此法案デ規定致シマシタノデアリマス、ソレデ憲兵條例ノ方トハ關係ヲ持チマセヌ譯デアリマス、ルカラ、此法案成立後ニ於キマシテモ、憲兵條例ニ就テハ、唯今ノ所デハ直チニ手ヲ著ケル必要ヲ認メテ居ラヌノデアリマス

○荒川五郎君 今ノ政府ニハ限リマセヌ、政府ハ兎角此劃一主義ヲ多クハ希望セラル、傾ガアルヤウニ思フノデアリマスガ、此裁判官或ハ其補助官ト云ヒマス、ト云フヤウナ者ハ、一例ヲ舉ゲマシレバ、録事ト云フヤウナモノハ、書記ト云フ普通ノ名ニセラレテ宜カラウカト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ事ニ就テ、多クノ場合ニ其名モ統一シタト思

フ節ガアルノデアリマス、ルガ、ソレ等ニ就テハ研究ニナッタノデアリマセウカ

○志水政府委員 只今ノ御尋ニ對シマシテハ、普通裁判制度ノ例ニ倣ヒマシテ、陸海軍ノ録事ヲ強テ録事トシテ置カヌデモ、書記トシテモ宜イデハナイカト云フ事デアリマス、ソレデモ宜シイノデアリマス、併ナガラ軍法會議ト申シマスノハ、即チ特別裁判所デアリマシテ、特別裁判所ノ職員ト云フモノハ、名稱ノ變ッテ居ルノモ又惡クハアルマイト云フ感シモゴザイマス、ソレデ裁判事ト云ハズシテ法務官、ソレカラ豫審判事ト云ハズシテ、豫審官ト云フ事ニナッテ居リマス、是ハ餘リ深キ理由ハアリマセヌ、唯ダ從來ノ因襲ト申シテモ宜シウゴザイマセウカ、若シ若干ノ理由ガアルトスレバ、裁判所ガ特別裁判所デアル、判事トシタ所ガ、其内容實質ニ於テハ、判事トモ擇バヌト云フ譯ニハ往カヌノデアルト云フヤウナコトカラシテ、判事トセズシテ法務官トスル、其位ノ外ニ理由ハアリマセヌ

○荒川五郎君 陸軍海軍ニ關スル法律或ハ其他ノ勅令等、一ノ法律若ハ命令ヲ以テ支配シテ居ルモノモ隨分アラウカト思ヒマス、例ヘバ廢兵院條例デスガ、廢兵院法トカ云フノハ陸軍ノ廢兵、海軍ノ廢兵モ支配スルト云フ事デアアル、軍人恩給法ノ如キモ、陸軍ノ軍人ノ恩給、海軍ノ軍人ノ恩給モ等シク支配スル事ハ心得テ居リマスガ、斯ル場合ニ、或ハ一ツノ法律ヲ條文ノ上ニ別々ニナッテ居ルモノモアルノデアリマス、サウ云フヤウナ事ヲ簡單ニ見得ルヤウナモノガ、御調ベニナッタモノガ若シアリマスレバ、此際デナクテモ宜シウゴザイマス、參考ノ爲メニ御示シテ願ヒタイ

○志水政府委員 特ニ御尋ノヤウナ意味ヲ持ッテ調ベマシタコトハナイノデアリマス、隨テ手短カナモノデ御參考ニナラウト云フモノモ發見致サヌノデアリマスガ、少クトモ此法案ニ於テハ強イ必要ガ無イノニ、陸軍海軍制度ヲ異ニスルノハ理由ガ無イデハナイカト云フコトハ、十分研究致シマシテ、現行制度ニ較ベマスレバ、陸海軍強テ異ラヌデモ宜イ事柄ハ成ベク規程ハ統一スルコトヲ努メマシテ、サウ云

フ意味ニ出來テ居リマス顯著ナル一例ヲ申シマス、只今ノ問題ニ出マシタ所ノ憲兵デアリマス、條例ノ上カラ申シマス、憲兵ハ御承知ノ通り司法行政ノ警察、及軍事警察ト云フ二ツノ任務ヲ持ッテ居リマス、其軍事警察ノ上ニハ、軍事行政——司法警察ガアルコトモ意味セラレテ居ルノデアリマス、其憲兵ガ軍事警察ヲ有スル上ニ於テハ陸軍大臣及海軍大臣ヲ戴イテ居ルノデアリマス、司法警察ニ就テハ司法大臣ヲ戴キ、行政警察ニ就テハ内務大臣ヲ戴イテ居ル、ソレニモ拘ラズ現行ノ陸軍治罪法デハ、憲兵ヲ殆ド唯一無二ノ搜查機關トシテ居リマス、海軍デハサウ云フ性質ノ憲兵デアリナガラ、憲兵ハ普通ノ司法警察官ト同視シテ居ル譯デアリマス、サウ云フコトハ理由ハ無イノデアルト云フコトカラ致シマシテ、今度ハ憲兵ヲ以テ、陸軍デハ陸軍司法警察、海軍デハ海軍司法警察、唯ダ陸軍海軍ノ名稱ハ違ヒマセケレドモ、主ナル司法警察官トシテ犯罪搜查ニ任ゼシムルコトニシタ、是等ハ顯著ナル事實デアリマス、他ノ事モ何モ陸軍海軍好ンデ別々ニスル必要ハ無イデハナイカト云フ議論カラ、爲シ得ル限り統一ヲシタ次第デアリマス、ソレハ御參考マデニ申上ゲテ置キマス

○荒川五郎君 軍法會議ノ辯護人ヲ指定セラル、ト云フヤウナ説明デアッタノデアリマスガ、其指定ニ就テハ何カ規則デモ出來テ居ルノデアリマス、カセシ又内規ヲ設ケヤウトモ思ッテ居リマセヌガ、此指定ヲスルト云フ立法ノ趣旨ハ斯ウ云フ事デアリマス、多クノ辯護士ノ中デ——成ベク軍法會議ノ制度ニ辯護ヲ許シ、辯護士ヲ用ユル事ヲ許スト云フ趣旨ガ能ク徹底スルヤウニシタイ、就キマシテハ辯護士ハ總テ軍法會議ノ辯護士スルト云フ事ニセズシテ、成ベク豫テ決メテ置キタイ、是ハ法律ニ明文ハアリマセヌケレドモ、之ヲドウ定メルカ、例ヘバ辯護士會長ト云フヤウナモノニ相談シテ、其見込ニ依テ決メルトカ何トカシテ、成ベク確實ノ人ヲ決メテ置キタイ、斯ウ云フヤウナコトデアリマシテ、他ニ何ニモ理由ハアリマセヌ、又此指定ヲスルト云フノハ、何モサウ範圍ヲ狹窄シテ必ズ此範圍内ノ人デナクテハイ

カスト云フノデハアリマセス、相當ナ人デアレバ厭
ハヌノデアリマス、成ベク間違ノナイ人ヲ決メテ置
キタイ、被告人ハ先ヅ十中ノ八九人兵士デアリマス
カラ、尙ホ更其必要ガアルト云フ外ニ何モ理由ハア
リマセス

○荒川五郎君 私ノ此場合ニ於ケル質問ハ是ダケ
デ、尙ホ進行ニ伴ッテ質疑ヲ留保致シマス

○北山一郎君 私ハ根本方針デ伺ヒタイと思ヒマス
ガ、此改正案ハ我帝國ノ陸海軍紀律ヲ嚴重ニ行
フ基礎ニナルノデ、所ガ此要點見マス、從來ノ治
罪ノ手段不備不完ヲ感ズルノミナラズ、全體ノ公正
又訴訟ノ形式ヲ備ヘズト云ッタヤウナ事ガゴザイマ
スガ、果シテ然リトスレバ、從來ノ我陸海軍ノ軍法會
議ナルモノハ、其軍紀軍律ヲ守ルニ足ルノ裁判ハ行ッ
テ居ラス、要スルニ人權ヲ甚シク侵害ヲシテ居ルト
見テ差支ナイノデゴザイマスガ、其理由ニ基イテ改
良ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトニナッテ居
ルノデスカ、其點ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○志水政府委員 現行ノ軍事裁判制度ニ依ッテ以テ
軍紀ヲ維持スルニ足ラナイカト云フ御尋デアリマス
レバ、否サウデハナイ、斯ウ御答スル外ナイノデアリ
マス、併ナガラ矢張此理由書ニ書イテアリマス如ク、
餘リ此制度ガ簡單デゴザイマスカラ、簡單ト申スコ
トハ、軍事裁判制度ノ要件トカ特色トモ申シマス訴
訟手續ノ敏速ト云フ爲メニハ宜シイヤウデアリマス
ケレドモガ、餘リ簡單デアリマシテ、殆ド今日ノ狀態
ニ於キマシテハ、刑事裁判ノ要件トモ謂ハンガ如キ、
一方ニ原告官アリ、一方ニハ被告アリ、原告官モ攻撃
ノ武器ヲ携ヘテ居ル、被告人モ防禦ノ武器ヲ携ヘテ
居ル、中間ニ裁判官ガアッテ公平ナ裁判ヲスルト云フ
點ニ於テ缺ケテ居リマス、ソレハ、被告人ニ對シテ攻
撃スル方ノ機關ハ、比較的備ッテ居リマスケレドモ、
被告人ハ辯護ヲスルニモ辯護人ヲ許サナイ、ソレカ
ラ裁判ハ如何ナル場合ト雖モ第一審即チ終審確定ト
云フ、斯ウ云フ様ナ狀態デアリマスカラシテ、以前ハ
兎ニ角、今日ノ社會ノ狀態カラ申シマスト云フト、所
謂一般社會ノ要求ニモ應ズルニ足ラヌ、ソレカラ又
偶々幸ニシテサウ云フ事ヲ餘リシマセヌケレドモ、

冤枉誣服ト云フガ如キ弊害ニモ陷リ易イ、若シサウ
云フ事ガアリマスケレバ、被告人ノ不利益ハ申スマデ
モナク、軍裁判ノ威信ニモ關係スル、要スルニ今日ノ
必要、今日ノ趨勢ニハ制度ガ伴ハヌノデアリマスカ
ラ、其方カラ急イデ改正ヲスル、斯ウ云フコトデス

○北山一郎君 ドウモ此大法典ノ改正方針ガ、只今
ノ御答辯デハ徹底致シマセヌガ、私共寡聞デアリマ
スカ知リマセヌガ、帝國ノ軍法會議ナルモノハ、所謂
軍隊ノ精華デアッテ、未ダ會テ之ニ對シテ不服ヲ唱ヘ
ル者ハ無イ、軍隊ノ裁判ハ神聖デアルト云フ意味ニ
於テ、盡ク之ニ服從シテ居ル、即チ此立派ナル歴史ヲ
有スル所ノ從來ノ軍法會議ヲ、更ニ辯護人ヲ指定ス
ルトカ、或ハ之ヲ公開スルトカ云ッタヤウニ致スト
云フコトハ、ドウモ要領ヲ得スト思フ、此點ニ就テド
ウシテモ何等カ現實ニ就テ缺陷ガアルト云フコトヲ
御發表下サイマセスト、容易ニ贊同スルコトガ出來
ナイ、ドウシテモ理想ニ傾イテ居ルヤウナ點ガアル

○志水政府委員 極ク簡單ニ御答致シマスレバ、幸
ニ只今申上ゲマシタ如ク、餘リ冤枉誣服ト云フガ如
キコトハ聞キマセヌノデアリマス、併シ偶々ドウモ
若干裁判ニ病ガアッタノデハナイカト思ヒマスコト
ガアリマス、ソレデ是迄比較的冤枉誣服ト云フコト
ガ聞キマセヌノハ、何ト申シタラ宜シウゴザイマス
カ、制度デナイ、制度ノ完備ナ爲メデナイ、制度ガ簡
單デアルカラ、即チ事ニ當ル者ガ慎重ナ態度ヲ執ッテ
誤リナカラシムルヤウニシテ居ルカラデアアル、斯ウ
申上ゲタイ、ソレカラ傍側ノ制度ハドウデモ構ハヌ
ト云フコトデアリマスケレバ兎ニ角、今日我國ノ制度
ノヤウナ簡單ナ狀態デ甘ンジテ居リマス軍事裁判制
度ハ、歐米ノ主ナル國ト申シマスカ、列強ト申シマス
カ、最早一箇所モアリマセヌト云フコトヲ申上ゲテ
置キマス

○委員長(鵜澤總明君) ドウデセウ今日ハ午後ニ、
今ノ内田サンノ御説明ト——荒川君ガ簡單ナト云フ
コトデスカラ……

○佐野正雄君 是デ一兩日熟考ノ餘裕ヲ與ヘラレテ
更ニ質問ヲ致スコトニシテ、今日ハ是デ御止メヲ願
ヒタイ

○委員長(鵜澤總明君) 明日一日ダケ休ムコトニシ
テ、明後日カラ御奮發ヲ願ッテ、ドウカサウ云フコト
ニ……

○荒川五郎君 今日ハ此程度ニ止メテ置カレルト云
フコトハ異議ハアリマセヌ、更ニ此委員會續行ノ方
針ニ於テ希望ガアリマスコトハ、此會ニ付託サレタル
十二件ノ中デ、陸海軍ニ關係スルモノ、司法當局ニ
關係スルモノ、内務當局ニ關係スルモノ、凡ソ其管轄
ガ違ヒマスカラ、今後ノ審議ハ其案ヲ大體區別シテ、
陸海軍ニ關係スル軍法會議法、ソレカラ司法ニ關係ス
ルモノト、サウ云フ風ニ特ニ其案ヲ極メテ委員會ヲ進
行セラル、方ガ、吾々研究スルニモ都合ガ善イト思
フ、希望ヲ申シテ置キマス

○委員長(鵜澤總明君) 一番大キイノガ陸海軍治罪
法デアリマスカラ、之ヲ先ヅ續イテ審査致シマシテ、
サウシテ他ノ内務關係ガ一ツアリマス、サウ云フヤ
ウナ分ハ一番後廻シニ致シタイ、ソレデ御異議ハゴ
ザイマスマイカ——明日一日休ミマス

○八田宗吉君 軍法會議ノ犯罪件數、種別、師團別ヲ
一寸伺ッテ置キタイノデスカ、表ニシテ軍法會議ノ
數、ソレカラ犯罪ノ種別ヲ一寸……

○委員長(鵜澤總明君) 後デ書面カ、謄寫版カデ宜
シイト思ヒマス、ソレデハ是デ散會致シマシテ、明後
日開キマス、ソレハ公報デ申上ゲマス、明日一日休ミ
マス、ソレカラ刑事訴訟法ノ改正案ハ、未定稿ノモノ
デアリマスガ、ソレモ委員ニ限ッテ御配付申上ゲル位
ノモノハアルカラ、御配付申上ゲマス

午後三時十二分散會

大正十年三月二十八日印刷

大正十年三月二十九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局